それらの人々は、彼らの内の正しい僕、または正しい男が死ぬと、その墓の上にマスジドを建て、その中にそれらの肖像を作ったのだ。それらの者たちはアッラーの御許で、最悪の被造物である。

アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）によれば、ウンム・サラマは、エチオピアの地で彼女が目にしたマーリヤという名の教会についてアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）に仄めかし、その中で肖像を見たということを伝えた。すると、アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言った：「それらの人々は、彼らの内の正しい僕、または正しい男が死ぬと、その墓の上にマスジドを建て、その中にそれらの肖像を作ったのだ。それらの者たちはアッラー
の御許で、最悪の被造物である。」
[真正] [二大真正集収録の伝承]

アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）によれば、ウンム・サラマ（彼女にアッラーのご満悦あれ）は、彼女がエチオピアの地に滞在していた時、肖像を置いている教会を見た。それで彼女はそれに驚き、その中で見た美しい装飾や像についてアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）に語った。するとアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は、事の重大さと、それがタウヒード（アッラーの唯一性信仰）にもたらす危険性ゆえに頭を上げると、それらの肖像が置かれた原因について人々に説明した。それは、それらの人々の行為について彼の共同体に警告するためであり、こう言ったのである：「あなたが言っているそれらの人々は、彼らの内の正しい者が死ぬと、そこで礼拝するためにその墓の上にマスジドを建て、その中にそれらの肖像を作ったのである。」また、そのようなことをする者が、アッラーの御許で最悪の被造物である、と説明した。なぜならその行為は、アッラーに対するシルクへと導くものだからである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/10887